平成２２年度　地域活性化事業交付金　交付決定事業実績　【星が丘地区】

平成23年3月31日現在

団体名	事業等の名称	事業実績の概要				交付決定	交付金額
		事業の目的	事業の実績	事業の成果	事業実施団体による自己評価	年 月 日	（単位：円）
星が丘地区民生委員児童委員協議会	「救急医療情報ノート」の作成・配布	「救急医療情報ノート」を作成し、一人暮らしの高齢者及び77歳以上の高齢者並びに障害者の世帯を対象に配布し、対象者が安全で安心した暮らしを推進する。	・9月21日から30日にかけて、市消防局へ周知、報道機関等への依頼書の作成。 ・10月4日から11月10日にかけて、マニュアルを作成。 ・11月15日、ノートが1,500部を受納。 ・平成23年2月末日まで対象者への配布。 ・3月25日付けで報告書を市に提出。	平成23年2月末日までに23名の民生委員が担当地区内の対象者（約1,200世帯）を個別に訪問、当該ノートを配布して、対象者が救急搬送された時の不安を解消して、安心・安全を確保することができるようになった。 また、毎年敬老会の案内状を届ける際に、ノート情報の更新を促すことにより、身近な相談員としての活動にも結び付き、地域福祉の向上に大きな成果をもたらした。	救急医療情報ノートの配布対象者とその家族からは、万一のときの安全・安心が確保できるようになったと好評を博している。 また、日ごろあまり目立たない民生委員・児童委員の活動が、目に見える活動として評価されるようになった。	H22.7.1	513,000
千代田ふれあいフェスティバル実行委員会	千代田ふれあいフェスティバル事業	千代田自治会連合会内の各種団体内で、次世代の育成と世代間交流を目的に、関係団体がお互いに連携しながら事業を展開し、それぞれの活動に結びつける。	・直売、お祭り、体験料理、ゲーム、健康相談、各種グループ発表及び各種加入促進コーナーの設置 ・通知、チラシ作成 ・各種グッズ、ゲーム景品購入 ・会場整理員の配置 ・保険加入 ・実行委員会の開催（5回開催内設立総会1回）	地域内の各種団体による活動を案内できる絶好の機会となった。また、地区内の住民の手によるイベントということで、日ごろ外出しない方にも声をかけたこともあり、地域のいっそうの親睦が図れた。 さらに目標としていた地域の連携強化につながった。	初めての事業ということで、関係団体への周知が不十分であった気もするが、これまでにないほど大勢の人が集まった。ふるさと意識の高揚はもとより、各種団体が協力して大きなイベントを実施したことにより、地域の連帯感がいっそう強固なものとなり、今後の地域の各種担い手育成とまちづくりの機運が高まった。	H22.9.30	1,300,000
星が丘地区自治会連合会	星が丘地区自治会連合会加入促進事業	星が丘地区自治会連合会の単位自治会の加入率が平均して60%と低迷していることから、加入促進に向けた努力を重ねているが、十分な成果が得られていない。 そこで、啓発物を作成するとともに当該物品を活用し、機会あるごとに加入促進事業を展開し、加入率の一割増を目指すとともに、地域活性化と安全・安心のまちづくりの推進につなげる。	・加入促進横断幕(各自治会1枚ずつ)、のぼり旗(各自治会2枚ずつ)、看板(各自治会2枚ずつ)、掲示板用看板(各自治会1枚ずつ)及びチラシの作成（未加入世帯用A3サイズ14,000枚、通常加入促進用A4サイズ12,000枚） ・星が丘公民館祭にて、加入促進キャンペーンを実施（平成23年3月6日）	星が丘地区自治会連合会内の14の単位自治会に、自治会加入啓発看板と横断幕を設置した。 これまで、自治会活動は、地味なイメージが強く、地域内でも、加入促進に向けた取り組みは、あまり周知されていなかったが、看板等の自治会加入の啓発物が目に付くようになったという声も聞こえ、自治会活動の紹介に大きく寄与した。	グッズを活用した自治会加入促進事業を行えるだけでなく、相互に支え合おうとする気持の高揚及び自治会のあり方を訴えるなど、自治会の活性化と会員の結び付きが一層強固なものになった。 今後、どのような緊急事態が発生するかは不明だが、先の震災の影響で自治会活動が見直されており、これまで以上の加入促進が図られると思う。	H22.12.6	1,187,000
							3,000,000